

MINI DISCLOSURE 2024.09

ミニディスクロージャー誌(営業の中間ご報告)



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

CHUGIN FINANCIAL GROUP, INC.

社長メッセージ

2024年12月
株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ
取締役社長 加藤 貞則



地域経済・社会の抱える課題に対して、 共創パートナーとともに

「共創の場」(プラットフォーム)を生み出し 「幸せが循環する地域」を目指します。

お客さま、株主のみなさまにおかれましては、平素よりちゅうぎんフィナンシャルグループにご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、中期経営計画「未来共創プラン ステージⅢ」が進行中ですが、ステージⅠ、ステージⅡを通じて積み上げた成果を最大限発揮し、長期経営計画で掲げた地域やお客さま、従業員と豊かな未来を分かち合うための持続的なビジネスモデルの構築をグループ一丸となって目指してまいります。

日本銀行のマイナス金利政策解除の影響について

日本銀行は、2016年1月の導入以来8年ぶりにマイナス金利を解除するとともに、2007年2月以来およそ17年ぶりの利上げを実施しました。マイナス金利下では金融機関にとって厳しい環境が続きましたが、その一方で銀行法上の規制緩和が一部進み、地域社会やお客さまが抱える課題に対して対応できる分野

が広がっています。私どもは、お客さまの「ヒト・モノ・カネ」に関するニーズにワンストップでお応えするための新たなグループ会社を設立してまいりました。

また、日本銀行による政策金利の引上げにより、長い間経験してこなかった「金利のある世界」が到来しました。「金利のある世界」による影響は、お客さまにとって預金金利の上昇というプラスの面がある反面、融資金利の上昇というマイナスの面もあります。ちゅうぎんグループ(13社)は、お客さまの抱える多様なニーズや社会課題に寄り添い、最適なソリューションの提供を通じてお客さまのご期待に応えてまいります。

地域課題の解決に向けたDXの取組み

中期経営計画「未来共創プラン ステージⅢ」で描く2030年の目指す姿「幸せが循環する地域」の実現を確実なものにするため、2024年5月に「ちゅうぎんDX戦略」を策定しました。

「ちゅうぎんDX戦略」では、自らがDX企業となるための業務プロセスの改革や大胆な業務シフトに着手するとともに、チャネル拡充やデジタル活用によるお客さまの利便性向上に向けたサービスの展開、データ活用による業務の高度化でお客さまへの最適なサービスの提供に努めています。

加えて、ちゅうぎんグループのノウハウやオープンイノベーションの活用、新事業の展開や異業種連携によりDXの取組みの充実を図っています。

さらに内部開発体制やリスクリテラシー強化、デジタル人材育成と

いったDXを下支えする基盤整備をおこない、地域のお客さまのDXをサポートすることで豊かな未来の共創を目指しています。

2030年の目指す姿「幸せが循環する地域」

地域が抱える課題は、人口減少、脱炭素、街づくり、産業振興など多岐にわたっています。

これらの課題に対し、ちゅうぎんフィナンシャルグループでは金融を中心とした商品やサービスおよびグループ会社の知見を活かしたソリューションなどでお応えしていますが、時代が大きく変わる中で今後ますますニーズの多様化、高度化が予想されます。

この多様化、高度化するニーズに対し、ちゅうぎんグループは地元の行政、企業、教育機関のほか、先端技術やノウハウを有する他業種のトップ企業などの共創パートナーとともに共創する場(プラットフォーム)を構築しています。

共創パートナーとともに地域課題へ多面的、多層的に展開することで「幸せが循環する地域」が生まれ、「お客さまと豊かな未来を共創する」ことができると考えています。

“地域が日本を牽引する時代へと進化する”その一翼を私たちちゅうぎんフィナンシャルグループが担ってまいりたいと思います。

これからも挑戦を続けるちゅうぎんフィナンシャルグループをどうぞよろしくお願いいたします。

ちゅうぎんフィナンシャルグループのサステナビリティ経営
中期経営計画
「未来共創プラン ステージⅢ」

成果発揮&新たな挑戦

2023年度から2026年度の4年間を計画期間とする本計画は「長期経営計画の最終ステージ」であり「ちゅうぎんフィナンシャルグループの第一次中期経営計画」です。

右記の「3つの成長戦略」により、ステージⅠ・Ⅱの改革をベースに成果を発揮し、長期経営計画のKPIの達成を目指すとともに、次の10年に向けた、新たな挑戦をおこなっていきます。

1 地方創生SDGsの「深化」

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し「**地域の持続的な発展**」に貢献します

地方創生	▶ DX・SXを起点とした地域を面で捉えた取組み、創業支援、SDGs活動を強化
地域応援活動	▶ 川上から川下までの一貫したソリューションを提供 ▶ サステナブルファイナンスを強化
ライフプランサポート活動	▶ お客さまのライフプランの実現を支援 ▶ 安定した資産形成・安心する資産承継の支援を強化

対応するマテリアリティ

- 地域経済・社会の活性化
- 少子高齢化社会への対応
- 環境経営の促進
- DXの推進

2 イノベーションの創出

次なる成長に向けた「**新たな価値**」を創造します

DX	▶ 業務プロセス改革・次世代チャネル・デジタル人材育成を推進
新規事業	▶ 協業によってグループ独自の新規事業を創出
アライアンス	▶ 広域連携・地域連携・異業種連携を積極的に展開

対応するマテリアリティ

- DXの推進
- 多様な人材の活躍推進

3 グループ経営基盤の強化

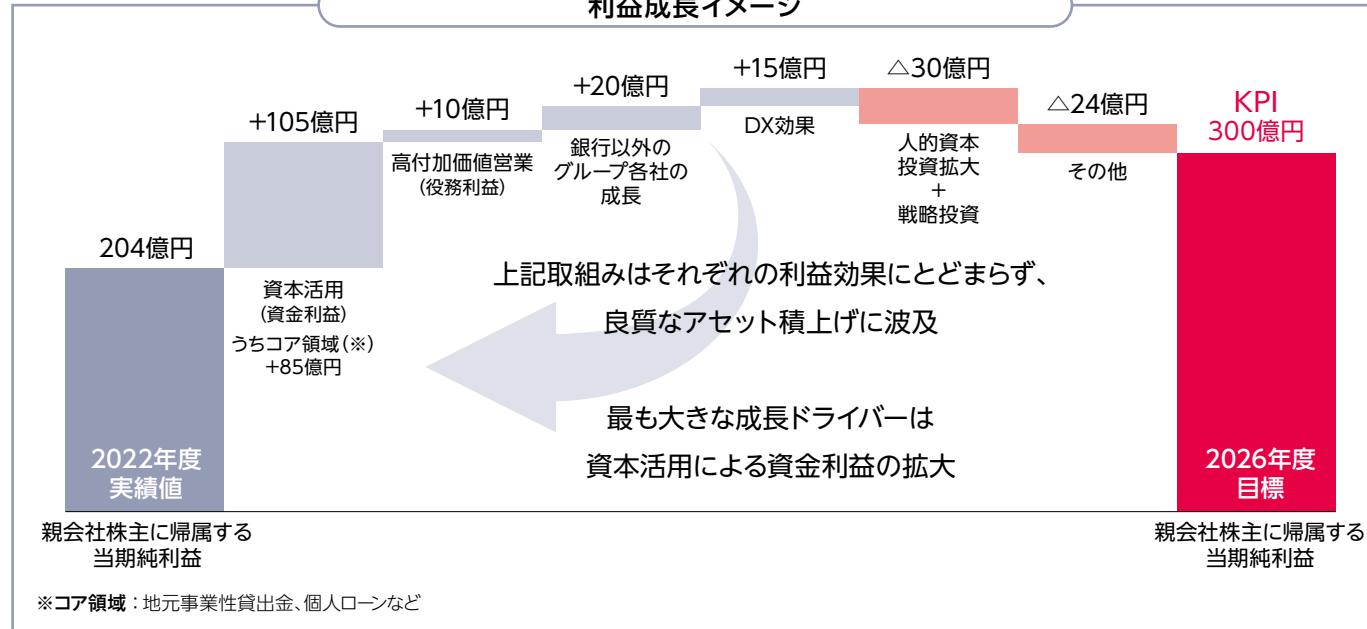
成長戦略を実行するための「**強固な土台**」を築きます

ポートフォリオ	▶ 事業ポートフォリオの最適化と経営資源の戦略的な配分を実践
財務資本	▶ 健全性・収益性・株主還元観点で適切な財務運営を実行
人的資本	▶ 事業戦略に沿って「人的資本投資」を大幅に拡大
ダイバーシティ	▶ 多様な人材の採用・活躍推進を強化
ガバナンス	▶ グループ全体での内部統制システムを高度化

対応するマテリアリティ

- 多様な人材の活躍推進
- ガバナンスの高度化
- DXの推進

利益成長イメージ



地域社会やお客さまの課題に対して、グループ全体で、上流から面で取組むことによって良質なアセットを積み上げていく計画です。

グループ各社の成長 +20億円	銀行との連携を強みとして、お客さまへの複合提案を強化 さまざまな知見を活かし、金融の範囲を超えて地域課題の解決をリード	<p>3 グループ経営基盤の強化</p> <p>2 イノベーションの創出</p> <p>1 地方創生SDGsの「深化」</p>
高付加価値営業 +10億円	お客さまの課題に対する高いコンサルティング (法人) 川上から川下まで一貫したソリューション (個人) お客さまのライフイベントやニーズに応じた最適なアプローチと提案	
DX効果 +15億円	業務プロセスや次世代チャネルの変革を通じて、 トップラインの拡大やリソースの捻出を実現	
資本活用 +105億円	アセット全体戦略(貸出金を中心にアセット残高+1兆円) <ul style="list-style-type: none"> コア分野：サステナブルファイナンスや地方創生、シェア拡大を通じた地元貸出金の増加 戦略運用分野：再生エネルギー、地域へのエクイティ、海外支店の活用、リースを含めた新事業などの戦略分野の強化 市場性運用分野：貸出金・有価証券の一体運用による高いリスク/リターン(RORA等)の追求 	

「ちゅうぎんDX戦略」策定

2024年5月にDXのさらなる加速に向け「ちゅうぎんDX戦略」を策定しました。

これまで「構造改革(ハード面)」「行動改革(ソフト面)」を実施しており、中期経営計画「未来共創プランステージⅢ」で描いた2030年の目指す姿「幸せが循環する地域」の実現に向け、邁進してまいります。

『人・地域ありき』

私たちがDXを進めていくうえで大切にしているキーワードです。何のために今、DXを進めるのか。それは、ちゅうぎんグループ最大の財産である「人材」がより輝ける存在になるためです。

最新のテクノロジーを活用することで、今まで培ってきた専門的なノウハウが伝承されます。また、デジタルを活用することで、より多くのお客さまにより多くのサービス提供が可能になります。

“地域が日本を牽引する時代へと進化する”その一翼をちゅうぎんフィナンシャルグループが担いたいと考えています。

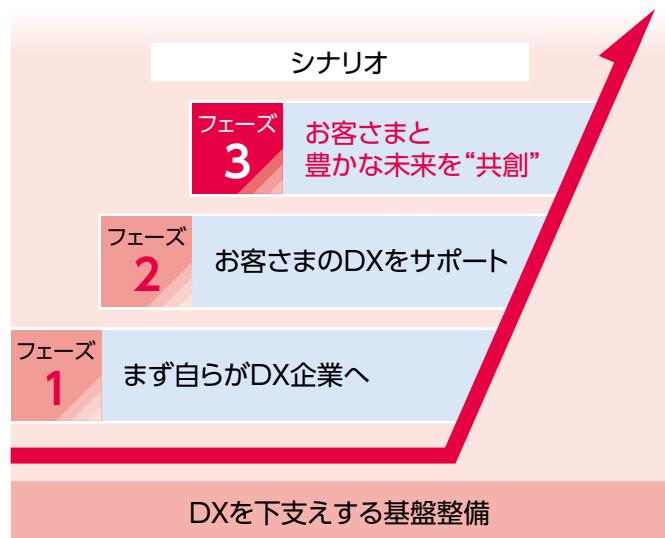
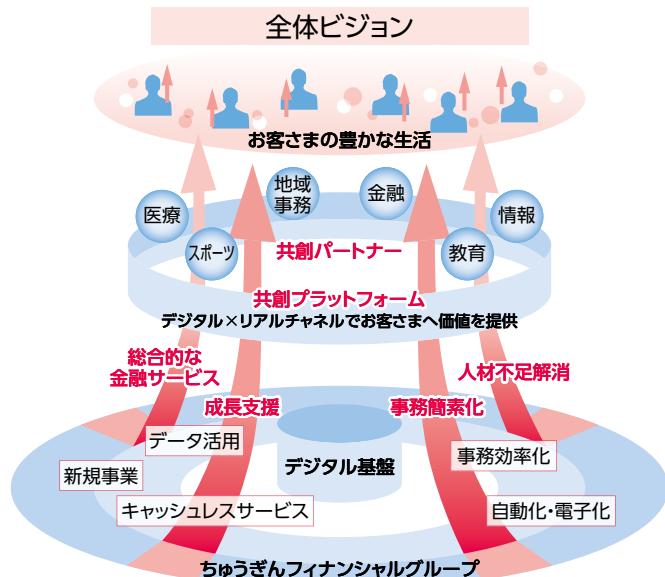
ちゅうぎんDX 全体ビジョン

デジタル基盤から生み出す課題解決に向けたソリューションを駆使しながら、共創パートナーとともに「共創プラットフォーム」を構築し「お客さまの豊かな生活」を実現します。

ビジョン実現に向けたシナリオ

まずは自らがDX企業となり、地域のお客さまへの提供価値を最大化します。そのうえで、個々のお客さまのDXのサポート役となり、ひいては地域全体の豊かな未来を“共創”することを目指します。

また、内部開発体制やリスクリテラシー強化など、DXを下支えする基盤・機能を構築します。



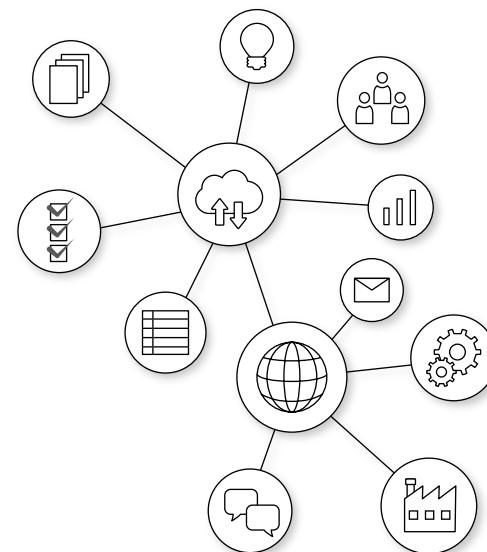
イノベーションの創出に挑戦する背景

加速度的なデジタル化の進展や不確実性の高まる事業環境に柔軟に対応しつつ持続的に企業価値を高めるためには、イノベーションの創出が不可欠です。地域社会の課題解決や多様化するお客さまのニーズに応え続けていくためDX、新規事業、外部連携を中心に次なる成長に向けた新たな価値の創造を目指します。

DXにより狙う効果

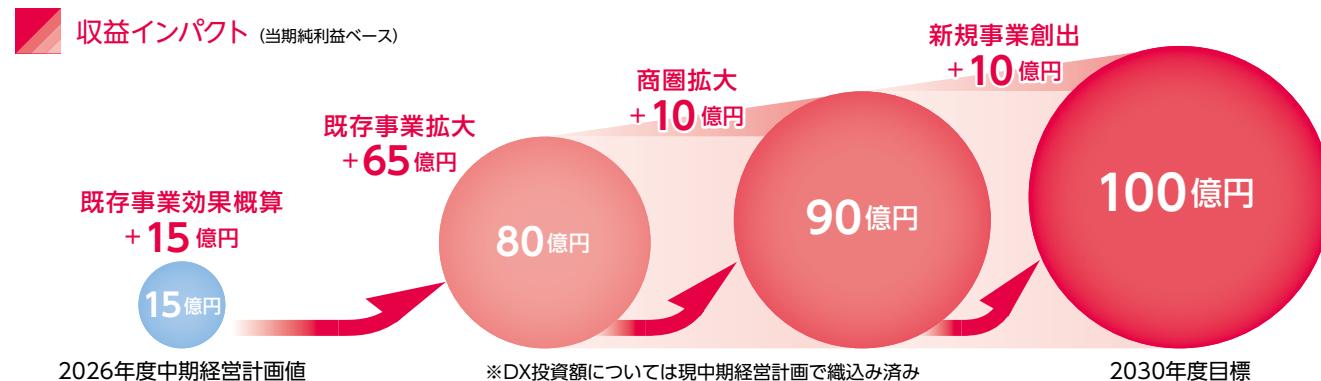
地域と人がデジタルでつながり、地域全体、お客さま、ちゅうぎんグループ社員にとって価値のある効果を創出します。

- 地域**
 - デジタル浸透による地域インフラ全体の利便性・満足度向上(金融、教育、医療)
 - 地方創生のモデルを全国へ展開
- お客さま**
 - 暮らしや事業と密接につながった金融サービスを活用
 - 多様なライフスタイルや事情に合わせ、いつでも・どこでも最適なサービスを活用可能
- 私たち**
 - 人財のエンゲージメント最大化
 - デジタルスキル向上
 - DX効果の社員・株主への還元



DX収益インパクト

高い収益目標(ムーンショット目標)を設定し、チャレンジし続ける組織文化を醸成します。



SDGsの取組みについて

「フード&ライフドライブ」の実施

ちゅうぎんグループ社員から集められた食品や日用品を、さまざまな事情で生活に困難を抱えている子育て世帯に提供する「フード&ライフドライブ」を実施しました。

今回の活動は、岡山市の北長瀬コミュニティフリッジへの寄贈を通じておこなったものです。

今後も「フード&ライフドライブ」による継続的な活動を通じて食品ロスや貧困問題の支援に取り組んでまいります。



「おかしBOX」事業を通じた障がい者支援

障がい者支援の一環として「おかしBOX」事業を活用した社員向けお菓子の販売を、本店ビル社員食堂で開始しました。

「おかしBOX」事業は、就労継続支援B型事業所の工賃向上や活動意欲促進を目指し、岡山県内の自治体や企業、団体が協力して取り組んでいる事業です。

ちゅうぎんグループの社員がお菓子を購入することで、障がい者の工賃向上支援を図るとともに、障がい者の活動に対する社内への理解浸透を目指します。



「瀬戸内渚フォーラム」へ参画

生物多様性保全の一環として、株式会社イノカが設立する瀬戸内海での生物多様性保全および地域経済の活性化を目指すプロジェクト「瀬戸内渚フォーラム」に参画しました。

藻場は海洋生物の繁殖場や食物供給源として機能するほか、二酸化炭素の吸収源として近年注目を集めています。一方、環境変化により瀬戸内海の藻場は大きく減少しています。

瀬戸内海に面する多くの団体が協働することで、人と海が共栄する地域循環型社会のモデルケースを創出します。



新商品・新サービスについて

「ちゅうぎんアプリ」住所変更手続き機能を追加

「ちゅうぎんアプリ」に住所変更手続き機能を追加しました。本機能ではマイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用します。公的個人認証サービスは、マイナンバーカードのICチップに搭載された電子証明書を利用し、オンラインで利用者本人の認証等を安全・確実にこなうためのサービスです。

本サービスの導入により、一部の申込内容の入力が不要となり手続きがスムーズになります。



住宅ローンのWEB化について

お客さまの利便性向上に向けた取組みとして、住宅ローンのWEB化を開始しています。

今まで申込書類に約80項目を手書きで記入していましたが、WEB画面に約20項目を入力するだけで申込手続きが完了します。事前審査結果の到着まで3営業日程度必要でしたが、最短30分程度で審査結果が届くなど、利便性が大幅にアップしています。



※イメージ

「ちゅうぎんGXボード」の取扱開始

お客さまのGHG(温室効果ガス)排出量を算定・可視化するクラウドサービス「ちゅうぎんGXボード」の取扱いを開始しました。本サービスでは、使用したガソリンや軽油、電気の使用量などを入力するだけで、GHG排出量の算定が可能です。

本サービスの導入により、地域のお客さまの脱炭素経営への関心を高めるとともに、GHG排出量の可視化から削減に向けた対話を通して、お客さまの企業価値向上を目指します。



Topics

NISA新CM放映開始

中国銀行では、お客さまへのライフプランサポート活動の一環として“ちゅうぎんでNISA”のテレビCM第2弾「大縄跳び篇」の放映を開始しました。

「相談しよう！」のかけ声とともにみんなで大縄跳びをする姿は、まだ資産形成に取り組めていないお客さまが気軽に店舗やWEBで相談していただくことで、資産形成の輪に一步踏み出していただくことをイメージしています。

なお、本CMには出演を希望したちゅうぎんグループの従業員も出演しています。



アルムナイ専用サイトを立ち上げました

中国銀行では、キャリア採用の一環として、退職者に再度活躍していただくことを目的としたアルムナイ（退職者）専用サイトを立ち上げました。

ちゅうぎんフィナンシャルグループとしてさまざまな分野に業務軸を拡大している状況下では、社内外の視点およびスキルを持つアルムナイの重要性がこれまで以上に高まっています。

アルムナイの方が本サイトに登録していただくことで求人情報やリリース、実際にちゅうぎんグループへ再入社した従業員のインタビュー記事などを閲覧することができます。

※本サイトのプラットフォームは、株式会社リクルートが提供するサービス「Alumy(アルミー)」を利用しています。



「プラチナくるみんプラス」に認定されました

中国銀行では、次世代育成支援対策推進法（次世代法）にもとづき、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業として2024年4月に岡山県で初めて「プラチナくるみんプラス」認定を受けました。

中国銀行では、2018年（平成30年）に「プラチナくるみん」認定を取得しており、今般さらに不妊治療と仕事の両立支援の取組みが評価され「プラチナくるみんプラス」の認定となりました。



「第3期ちゅうぎんオープンラボ」始動！！

ちゅうぎんグループの従業員が、所属、役職に関係なく、お客さまのために実現したいと思う事業やサービスを自ら考え企画する取組み「ちゅうぎんオープンラボ」(第3期)が始動しました。第1期、第2期で生まれたアイデアは、お客さまの利便性向上に向けた新たなサービスの創出やグループ会社の設立などといった成果に結びついています。

第3期オープンラボからも新たなサービスや事業が生まれるように、全社一丸となって取り組んでいます。



「生成AI活用セミナー」開催

さまざまなビジネスシーンで利用が広がっている生成AIの活用事例を知ること、お取引先企業の効率化や高度化につなげていただきたいという思いから、株式会社松尾研究所、株式会社Cキューブ・コンサルティングと当社の3社共催で「生成AI活用セミナー」を開催しました。

生成AIのインパクトや導入事例をテーマにしたセミナーには多くの方が来場し、主催企業に加えスタートアップ企業8社の講演がおこなわれました。

参加者からは「最新技術の情報が非常に役立った」との声をいただき、お取引先にも生成AIの有用性を認識していただくことができました。



「まびふれあい公園事業」に対するお取引先との合同寄贈

中国銀行では「平成30年7月豪雨」災害からの復興を目的とした事業「まびふれあい公園事業」を支援するため、2023年（令和5年）10月よりSDGs私募債「地域応援型」による合同寄贈プロジェクトに取り組みました。本プロジェクトに賛同いただいた私募債発行企業19社と中国銀行による合同で、倉敷市に芝刈り機と時計を寄贈しました。

まびふれあい公園は「平常時と災害時の両面で活用ができ、地域の発展にもつながる公園の整備」をコンセプトに作られ、非常時の新たな拠点になるとともに近隣住民の憩いの場にもなっています。



営業の概況

※貸出金残高、預り資産の状況、有価証券残高は中国銀行単体の計数となっております。

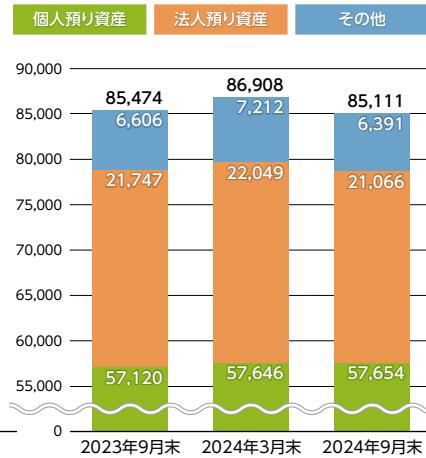
※損益について、2023年度中間期および2024年度中間期はちゅうぎんフィナンシャルグループ連結、2022年度中間期は中国銀行連結の計数となっております。

貸出金残高 (単位:億円)



事業性貸出金、個人ローンともに増加し、9月末残高は6兆3,284億円となりました。

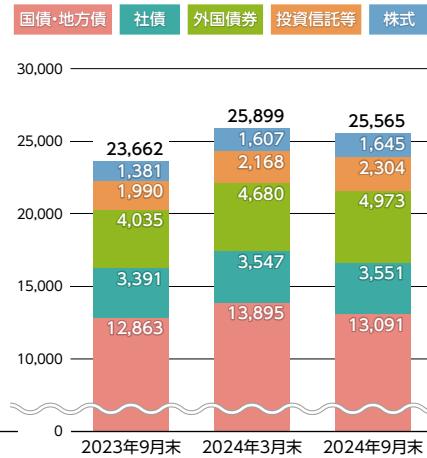
預り資産の状況(注) (単位:億円)



個人預り資産は増加したものの、法人預り資産は減少したため、預り資産全体の9月末残高は8兆5,111億円となりました。

(注) 預り資産：預金、譲渡性預金、公共債・投資信託
窓口販売

有価証券残高 (単位:億円)



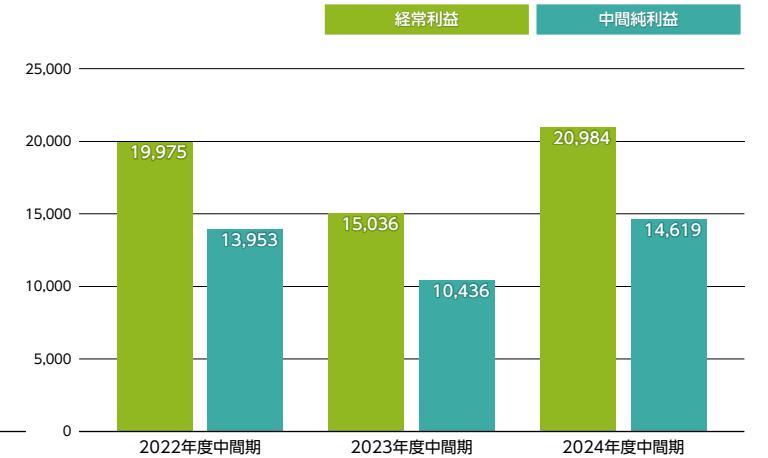
有価証券運用につきましては、株価や内外金利動向等に配慮しつつ運用した結果、9月末残高は2兆5,565億円となりました。

自己資本比率 (単位:%)



2024年9月末の総自己資本比率は13.67%、普通株式Tier1比率は13.25%となりました。

損益 (単位:百万円)



経常利益は、資金利益や役員取引等利益の増加を主因に、前年同期比59億48百万円増益の209億84百万円となりました。

なお、中間純利益については前年同期比41億83百万円増益の146億19百万円となりました。(1株当たりの中間純利益80円95銭)

CORPORATE DATA (2024年9月30日現在)

商号	株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ
本店所在地	岡山県岡山市北区丸の内一丁目15番20号
設立日	2022年10月3日
資本金	160億円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード5832)
ホームページ	https://www.chugin-fg.co.jp

中国銀行の概要 (2024年9月30日現在)

前身銀行創立	1878年(明治11年)12月9日
創立	1930年(昭和5年)12月21日
本店所在地	岡山市北区丸の内一丁目15番20号
資本金	151億円
店舗数	137か店(本店、国内支店126、出張所5、特別出張所3、海外2) 上記のほか、店舗内店舗方式の支店を26か店、同方式の出張所を2か店、インターネット支店を1か店それぞれ設置しております。 事務所1(東京) 海外駐在員事務所3(ニューヨーク、上海、バンコク)
店舗外現金自動設備	194か所(219台)
従業員	2,665名(出向者242名を除く)
主要勘定	預金残高 7兆9,710億円 貸出金残高 6兆3,284億円 有価証券残高 2兆5,565億円
ホームページ	https://www.chugin.co.jp

格付けについて

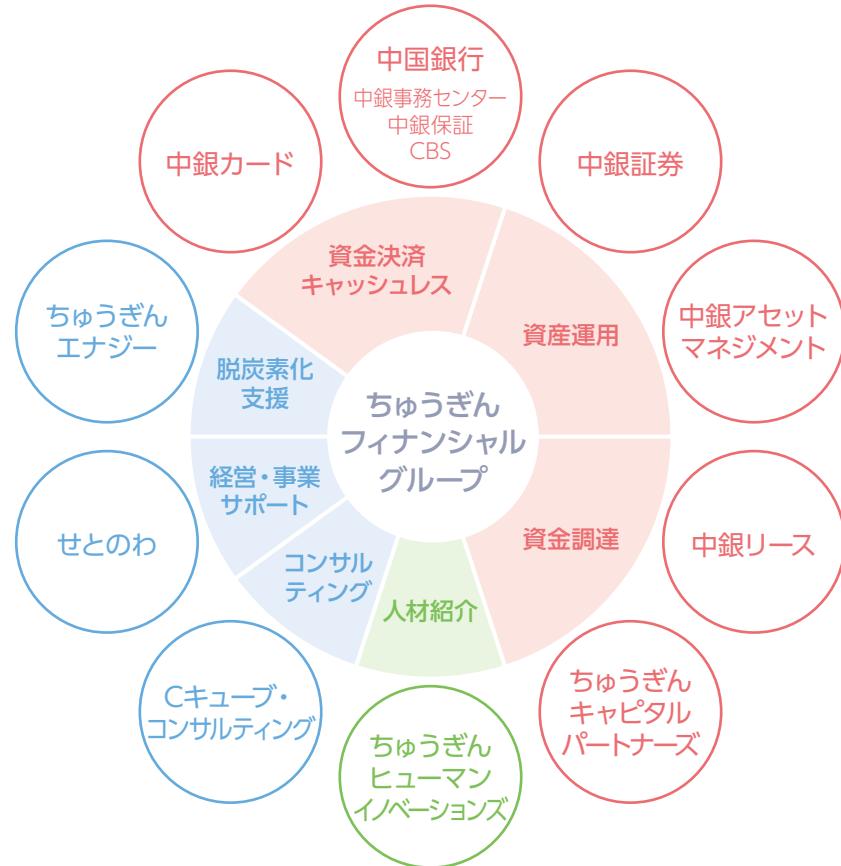
(2024年9月30日現在)

ちゅうぎんフィナンシャルグループは、格付投資情報センター(R&I)より「A+」の格付けを取得しております。
また子会社である中国銀行では、ムーディーズ社より「A2」、格付投資情報センター(R&I)より「A+」の格付けを取得しております。

ちゅうぎんグループの概要

ちゅうぎんグループは、多様なグループ会社とともに金融を中心とした総合サービス業へ進化することで企業価値の向上に努めてまいります。

- 株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ
..... 銀行持株会社
- 株式会社中国銀行
..... 銀行業
- 中銀証券株式会社
..... 証券業務
- 中銀アセットマネジメント株式会社
..... 投資顧問業
- 中銀リース株式会社
..... リース業
- 株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズ
..... ファンド運営業
- 株式会社ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ
..... 人材紹介業
- 株式会社Cキューブ・コンサルティング
..... コンサルティング業
- 株式会社せとのわ
..... 地域商社
- 株式会社ちゅうぎんエナジー
..... 地域エネルギー脱炭素関連事業
- 中銀カード株式会社
..... クレジットカード業務
- 中銀保証株式会社
..... 信用保証業
- 中銀事務センター株式会社
..... 銀行事務受託業
- 株式会社CBS
..... 銀行事務受託業



株式のご案内・状況

- 決算期** 毎年3月31日に決算をおこないます。
- 定時株主総会** 毎年6月に開催いたします。
- 配当金** 期末配当の基準日は毎年3月31日、中間配当の基準日は毎年9月30日といたします。
- 基準日** 定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 株主名簿管理人** 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL. 0120-094-777 (通話料無料)

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

公告方法 電子公告とします。
インターネットホームページ <https://www.chugin-fg.co.jp>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、岡山市において発行する山陽新聞および東京都において発行する日本経済新聞に掲載してまいります。

株式の状況 (2024年9月30日現在)

1. 資本金 16,000百万円	2. 発行済株式総数 184,771千株	3. 株主数 18,021名
---------------------	-------------------------	-------------------

大株主 (2024年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	23,722	13.25
株式会社日本カストディ銀行	8,857	4.94
岡山土地倉庫株式会社	5,358	2.99
日本生命保険相互会社	4,756	2.65
倉敷紡績株式会社	4,559	2.54
シーピー化成株式会社	4,478	2.50
ちゅうぎんフィナンシャルグループ従業員持株会	4,061	2.26
明治安田生命保険相互会社	3,804	2.12
GOVERNMENT OF NORWAY(代理人:ソフィバク、I&I(野村))	2,447	1.36
静林業株式会社	2,370	1.32

※発行済株式総数(自己株式5,759千株を除く)に対する持株比率が上位となる10名の株主について、持株数の順に記載しております。

株式所有者別内訳 (2024年9月30日現在)

金融機関 27.14%	その他の法人 27.39%	外国法人等 13.72%	個人その他 30.24%
政府・地方公共団体 0.00%	金融商品取引業者 1.51%		

株主優待制度について

株主優待制度の対象となる株主さま

基準日(3月31日)現在の株主名簿に記録された500株(5単元)以上保有の株主さまのうち、継続して1年以上保有(※)している株主さま

※「継続して1年以上保有」とは、基準日(3月31日)の株主名簿に記録され、毎年3月31日、6月30日、9月30日、および12月31日現在の株主名簿に同一株主番号で連続して5回以上記録されている株主さまといたします。

株主優待制度の内容

「岡山県特産品コース」「寄付金コース」「TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース」の3コースよりいずれか一つをお選びいただけます。



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

発行 2024年12月

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ 経営企画部 広報センター

〒700-8628 岡山市北区丸の内一丁目15番20号 TEL.(086)223-3110

ホームページアドレス <https://www.chugin-fg.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。